令和４年度　自己評価報告書

令和５年２月吉日

上横田よつば保育園

１　自己評価アンケート

実施期間について・・・令和５年１月３０日～２月５日

評価について・・・・・A図られている　　B どちらとも　　C 図られていない

Ⅰ　保育の基本的理念と実践

観点		評価項目	A	B	C
子どもの理解	1	子ども一人ひとりの人権や人格を尊重し保育にあたっている。	88%	13%	0%
	2	子どもの発達を理解し、それぞれの個性や生活の状況に配慮した保育を行っている。	90%	10%	0%
ねらいや内容	3	保育所の保育理念や子どもの発達過程を踏まえた保育課程を編成している。	79%	21%	0%
	4	子どもに遊びや自然とのふれあいなど、多彩で豊かな体験が広がるような保育を提供している。	79%	19%	2%
	5	子どもが相互に関わったり協力し合ったりして、より良い人間関係が作れるようにしてい	85%	15%	0%
保育の環境	6	子どもが命の大切さや尊さを身近に感じたり理解できる環境づくりを行っている。	77%	23%	0%
	7	子どもたちが安全で情緒の安定した生活ができる環境づくりを行っている。	85%	15%	0%
	8	子ども同士や保育士との対話が促される環境づくりを行っている。	88%	13%	0%
	9	子どもが自分らしく意欲的に活動できる環境づくりを行っている。	73%	25%	2%
関わり	10	保育指針に示す『保育に関わる全般的な配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	73%	27%	0%
	11	乳児に対し、保育指針の『乳児保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	73%	27%	0%
	12	１～２歳児に対し、保育指針の『３歳未満児の保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	67%	33%	0%
	13	３～５歳児に対し、保育指針の『３歳以上児の保育に関わる配慮事項』を踏まえた保育を提供している。	58%	42%	0%
	14	特別な支援や配慮を要する子どもに対し、個別の指導計画を作成しねらいをもって保育を提供している。	54%	35%	10%
保育課程	15	保育課程に基づき、月案・週案・日案などの指導計画を作成している。	56%	40%	4%
	16	保護者アンケートや職員による反省を生かして、指導計画の見直しを行っている。	73%	23%	4%
	17	保育に関する記録を整備し、子どもの育ちや進級への引継ぎに有効に活用している。	79%	19%	2%
	18	子どもの発達や季節に合った行事が適正な時期に実施されている。	92%	8%	0%

Ⅱ　家庭及び地域社会との連携や子育て支援

観点		評価項目	A	B	C
子育て支援	19	定期面談など家庭の実態や保護者のニーズを理解するための取組を行っている。	92%	8%	0%
	20	保護者に対して、クラスだよりや連絡帳を使って保育の内容や子どもの様子などを伝えている。	92%	8%	0%
	21	虐待などの疑いがある子どもの早期発見への取組、発見時の対応が整備されている。	85%	15%	0%
	22	個人情報など園が知りえた情報は、プライバシーに配慮して取り扱っている。	98%	2%	0%
地域 連携交流	23	保育所の施設や園庭を開放するなどして、地域の保護者等に対する子育て支援を推進している。	98%	2%	0%
	24	子どもの発達を理解し、家庭や必要な医療機関と連携しながら、子どもの育ちを支援している。	90%	10%	0%
	25	子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、就学に向けて小学校との連携を図っている。	85%	15%	0%

Ⅲ　保育の実施運営･体制全般

観点		評価項目	A	B	C
組織基盤	26	組織及び理念・目標・方針が明確であり、職員への共通理解を図っている。	75%	25%	0%
	27	施設長は管理職として、保育や組織の質の向上に指導力を発揮している。	81%	15%	4%
	28	役割や責任の範囲など職員の職務が明確である。	85%	13%	2%
	29	職員の労働環境や意向を把握し、必要に応じて改善する仕組みを構築している。	75%	21%	4%
	30	職員の福利厚生や健康維持のための取組行を行っている。	73%	23%	4%
	31	保育所の運営に必要な関係機関などを把握しているか。	65%	31%	4%
	32	保育所にある各種マニュアルについて、必要に応じて検証・見直しを行っている。	77%	21%	2%
	33	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	88%	13%	0%
	34	職員や保育所の自己評価を行っている。	94%	6%	0%

社会的責任	35	保育所等の運営に必要な法令を遵守し、職員が理解できる機会を設けている。	81%	13%	6%
	36	個人情報の保護に関する決まりが整備され、個人情報は適正に管理されている。	94%	4%	2%
	37	保育所の利用開始（保育の提供）に際し、保護者に重要事項説明書の交付及び説明を行っている。	96%	4%	0%
	38	保護者からの相談・意見・苦情解決のための取組を行っている。	96%	4%	0%
	39	保護者や地域社会に対して、事業計画や活動計画について知らせている。	92%	6%	2%
健康及び安全	40	子どもたちの体調不良や怪我に対応できるだけの保健的環境が整備されている。	92%	6%	2%
	41	子どもが心地よく落ち着いて過ごせるよう、清掃やアルコール消毒など衛生管理を整備している。	85%	15%	0%
	42	健康診断や身体測定を行い、子どもの健康状態や発育及び発達状態を把握している。	94%	4%	2%
	43	子どもが楽しみながら適切な食生活を身につけられるよう、献立や食育を工夫している。	96%	4%	0%
	44	アレルギーや食物アレルギーを持つ子どもに対して、適切な対応を行っている。	98%	2%	0%
	45	感染症発生時の体制や対応方法などを定め、予防するための取組を行っているか。	83%	13%	4%
	46	感染症発生時の体制や対応方法などを定め、予防するための取組を行っているか。	81%	15%	4%
	47	事故発生時の体制や対応方法などを定め、事故防止や安全管理のための取組を行っている。	88%	10%	2%
	48	災害時の体制や対応方法などを定め、避難訓練など安全確保のための取組を定期的に行っている。	94%	4%	2%
	49	災害に備え食料や物品などを備蓄し適正に管理している。	63%	29%	8%
資質向上	50	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保され、職員同士が主体的に学び合える環境が整っている。	77%	21%	2%
	51	職員の資質向上のため、体系的な研修計画を立て研修の機会確保と充実を図っている。	79%	19%	2%
	52	保育や運営における改善点について、職員が自分の意見を発表できる場が整っている。	58%	38%	4%
	53	研修で得た知識や資料を共有し活用する環境が整っている。	56%	38%	6%

２　今後取り組む課題

課　題	具体的な取り組み方法
14. 特別な支援や配慮を要する子どもに対し、個別の指導計画を作成しねらいをもって保育を提供している。	支援児担当と担任等、常に関わる保育士は理解して保育を行っているが、クラス担任ではない保育士にも支援が必要な園児の状況と対応を全体に周知し保育士全員で保育を行っていく。
４９．災害に備え食糧や物品などを備蓄し適正に管理している。	災害に備え食糧や物品を備蓄しているが全体に周知ができていないので主任会議・職員会議で周知し、いざという時に備えていく。
５２．研修で得た知識や資料を共有し活用する環境が整っている。	研修で得た知識をその保育士だけの知識にとどめることなく、主任会議・職員会議で報告する時間を設けて全体でスキルアップを目指していく。